

Title	プログラム
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学AI・ 高度プログラミングコンソーシアム
Publication year	2024
Jtitle	AICカンファレンスWinter Edition予稿集 (2024.) ,p.4- 4
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	会議名：AICカンファレンス2024 Winter Edition 開催地：慶應義塾大学協生館AICラウンジ 日時：2024年12月7日
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO11003001-20241207-0004

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

プログラム

開催日 2024 年 12 月 7 日

会場 慶應義塾大学 協生館 AIC ラウンジ

タイムテーブル

9:30-10:00	受付開始
10:00-10:10	開会式
	開会宣言 矢向 高弘（慶應義塾大学 AI・高度プログラミングコンソーシアム 代表）
10:10-10:50	講演セッション1「慶應 AI センターのご紹介」
	杉浦 孔明（理工学部 教授）
	斎藤 英雄（理工学部 教授）
	栗原 聡（理工学部 教授）
	泰岡 颯治（理工学部 教授）
10:50-11:50	招待講演
	AI にできないこと：脱優等生のススメー 富田 勝（鶴岡サイエンスパーク 代表理事）
13:00-13:30	AIC セッション
	AIC の活動について 小林 真里（AIC 特任教授）
13:30-14:30	講演セッション2
	Wi-Fi 搭載マイコンと生成 AI を用いた IoT に関するハンズオン型教育の実践 吉川 拓志（理工学部 4 年）
	エンドエフェクタの軌道に基づく open-vocabulary 物体操作タスクにおける将来成否予測 神原 元就（理工学研究科 博士 2 年）
	大規模言語モデルのリーズニング能力の評価：言語理解と推論の観点から 安東 里沙子（文学研究科 博士 1 年）
	Image Captioning における自動評価の最前線 和田 唯我（理工学研究科 博士 1 年）
14:45-15:45	講演セッション3
	生活支援ロボットにおけるマルチモーダル検索に基づく移動マニピュレーション 是方 諒介（理工学研究科 博士 1 年）
	イベントカメラを用いた高速現象の解析 中林 拓也（理工学研究科 博士 2 年）
	Visuo-Tactile Zero-Shot Object Recognition with Vision-Language Model 上田 栞（理工学研究科 博士 2 年）
	Multimodal Cross-Domain Few-Shot Learning for Egocentric Action Recognition 波多野 雅（理工学研究科 博士 2 年）
16:00-17:30	懇親会